

【概要版】豊中市部活動の地域展開 「とよチャレ」保護者説明会



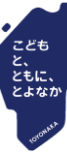
参考資料

豊中市部活動地域展開に関する説明会資料

※資料詳細は、参考資料(右の二次元コード)を参照ください。



豊中市教育委員会事務局学校教育課
06-6858-2847
豊中市都市活力部スポーツ振興課
06-6858-3092
豊中市都市活力部魅力文化創造課
06-6858-2503



豊中市がめざす新しい放課後・休日の姿
～子どもたちと保護者の皆さまにお約束する3つのこと～

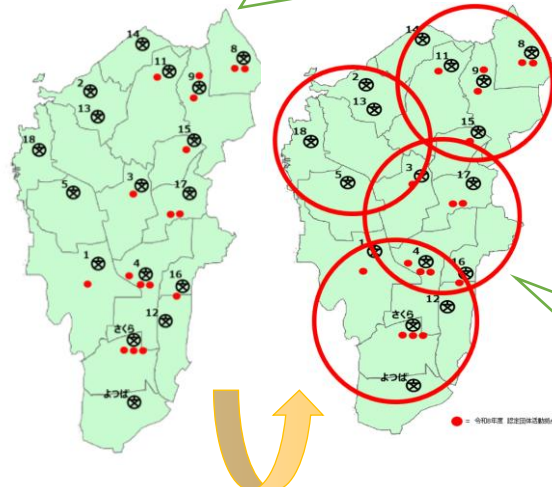
- ☑子どもたちがやりたい活動に出会える環境をつくります
→学校や校区の枠を超えて、多様な活動の機会を広げます
- ☑安心して参加できる仕組みを整えます
→安全性・情報提供・活動場所及び団体の確保に責任をもって取り組みます
- ☑子どもたちの活動機会を将来にわたって守ります
→地域全体で支える持続可能な仕組みづくりを進めます



③とよチャレこれからの活動内容について

◆令和8年度認定団体の活動場所◆

中学校施設を活動の拠点とし、高等学校や地域の施設等も活用しています。



「豊中市認定地域クラブ

安心安全な活動時間と休養のルール」

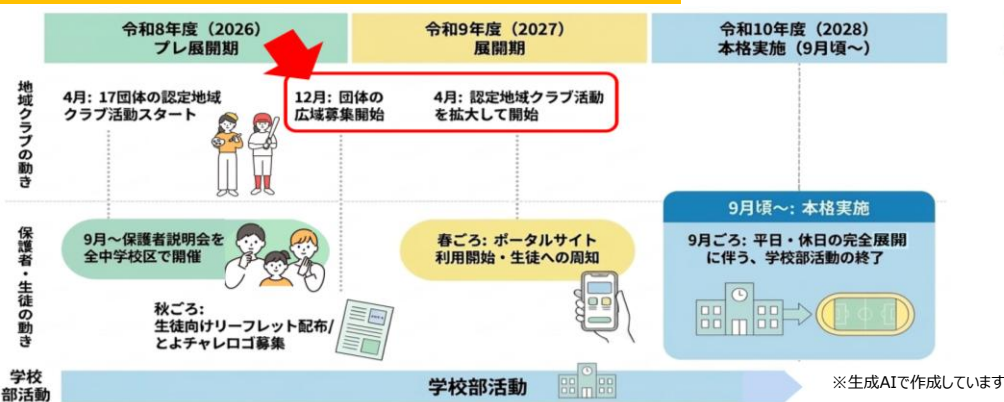
子どもたちの健康と心身の適切な成長を確保するため、国および市のガイドラインに基づく厳格な活動制限を守って活動します。

- ・平日の活動：1日 2時間程度以内
- ・休日の活動：1日 3時間程度以内(練習試合等含む)
- ・週の活動総時間：最大週当たり11時間程度の範囲内
- ・休養日：週に2日以上以上の休養日を設定(原則土日のどちらかは休養)

◆令和10年度には200以上の認定団体の配置を想定◆
各地区にバランスよく配置することをめざします。



①とよチャレ展開ロードマップ



②活動はどのように変わるの?

◆以下の要件などをクリアした団体が「認定」されます◆

◆子どもの希望に沿った地域クラブへ◆

①教育的意義の継承

一部の選抜ではなく、誰もが主体的に参加できる機会の保障
多様な選択肢と豊かな体験の提供
営利を主目的とせず、可能な限り低廉な参加費の設定

②安全・安心の確保体制

暴力・暴言・ハラスメントの根絶
熱中症対策、AED設置場所の把握等の安全管理
事故時の責任明確化と、指導者・参加者の保険加入必須

③指導体制とガバナンス

責任者や指導者等、複数スタッフによる運営体制
指導者のコンプライアンス等に関する所定研修の受講必須
透明性のある会計処理

④学校・地域との連携

ガイドラインに沿った適切な活動時間と休養日の設定(早期練習不可等)
学校行事や定期考査等への配慮と、活動拠点校との適切な情報共有

【技術向上タイプ】

プロに教わって、もっと上手になりたい!

専門的な指導者のもと、高度な技術や技能の向上をめざす本格的なクラブ。

【専念タイプ】

チームで全国大会を目指して頑張りたい!

特定の競技や活動に深く打ち込み、大会・発表会・コンクール等での好成績をめざすクラブ。

【楽しむタイプ】

運動は好きだけど、マイペースに楽しみたい!

上達や結果よりも、スポーツや文化活動そのものに親しみ、自分のペースで楽しむクラブ。

【レクタイプ】

色々な学年の人と、楽しくワイワイ交流したい!

趣味の共有や、レクリエーションを通じた多様な人々との交流をメインとするクラブ。

④どのようなサポートがあるの?

「とよチャレ」を安心して始められるよう、活動団体や保護者、参加する子どもたちを対象に、手続き・安全管理・活動場所・用具・経済面など、多方面から継続的な支援を行います。

【手続きの支援】

ポータルサイト・連絡アプリの導入
スマートフォン等から簡単にクラブ検索・申込ができ、出欠連絡や集金もアプリで一元管理して保護者の負担を軽減します。

【安全・経済の支援】

移動式投光器(LED)の順次配備
夜間や冬季でも安全に運動場で活動できるよう投光器を配備し、学校施設を有効活用する保護者や団体の施設利用料負担を抑えます。

【指導の支援】

安全な指導体制の構築
市が定める安全研修(熱中症・外傷予防など)を受講した指導者が安全に指導します。

【施設の優先使用及び備品の貸し出し】

中学校施設の優先利用
優先的に利用することで、安定したクラブ活動を支援します。

【費用の支援】

経済的な配慮・支援策の検討
経済格差が体験格差につながることを防ぐよう、保護者への具体的な費用支援策について豊中市で検討を進めています。

※生成AIで作成しています

※生成AIで作成しています